

## □ 東罐興産シンボルマーク制定

### 東罐興産株式会社

東罐興産は昭和36年創立以来、現在に至るまでシンボルマークの策定をしていませんでした。会社のブランドイメージ、継続性の観点からシンボルマークが必要と判断し、2017年5月1日よりシンボルマークを制定いたしました。

このシンボルマークの策定にあたっては、経営理念に基づき作成し、経営理念の浸透と経営計画の実現、シンボルマークを使用する事により東罐興産の知名度を高め、イメージを効果的に伝える統一性のあるデザインとしました。また、社員の行動に一貫性を持たせ、意識の向上と全員がチームとなり一致団結する事ができる「当社らしさと独自性」を表現できるものとするを目的としています。

デザインコンセプトは、アーチ状のラインはパイプハウスに被覆した当社のPOフィルムを表現しており、グリーンの手（農業生産者）とブルーの手（東罐興産）を結びつけ両者が手を取り合いながら農業の未来を育む様子を表現しています。また、イメージカラーの青は当社の製品、緑は農業をイメージさせる色となっています。

## □ 交通安全講習報告

毎年東罐興産では、社有車、レンタカーの運転許可者を対象に交通安全講習会を実施しています。講習会では警察署交通課の方を講師としてお招きし、自動車事故を起こさないための運転方法や、飲酒運転の危険性などについて講話頂き、運転許可者の安全意識向上に取り組んでいます。



## □ 指差呼称体感研修

安全作業の基本動作の一つである指差呼称についてヒューマンエラー防止に必要な確認「指差呼称の必要性」を理解する為、指差呼称体感装置を利用して各工場にて研修会を実施しました。

簡単な操作の体験でしたが、指差呼称の大切さを改めて理解しました。



## □ CSR部発足

2017年4月1日付で新しくCSR部が発足しました。CSRは「企業の社会的責任」と訳されていますが、責任を果たすことは勿論、社会的課題を解決し、社会の要請や期待に応えることで経済的価値や社会的価値を高める目的で発足いたしました。まずは、CSRに関する理解を深めるため啓蒙活動から始め、様々な課題に取り組んでまいります。

## □ 2016 日本パッケージングコンテスト受賞

「日本パッケージングコンテスト」は、公益社団法人日本包装技術協会の主催で毎年開催され、優れたパッケージとその技術の普及推進を目的として実施される、日本の包装分野における最大のコンテストです。2016年度は包装部門賞において、東罐興業グループから2点の製品が受賞しました。

### [日本トーカーパッケージ]

#### ・輸送包装部門賞

##### 『「お店でお見せします」手組みスタックトレイ』

従来のトレイでは天面に差し込みの為に積み重ねる必要でしたが、側面部で差し込む構造としたため、才数の削減が可能となりました。スタック方法も爪による嵌合ではなく、トレイの底面にテーパを付けたはめこみ式にした為、シビアな位置決めをしなくても容易にスタックが可能となりました。



#### ・電気・機器包装部門賞

##### 『家庭用 LED 照明器具の梱包箱』

家庭用吊り下げタイプLED照明器具の梱包において、従来は別パーツであった固定用の部材を梱包箱の底フラップ部の加工により、外装箱と一体化することに成功しました。これにより内容物の保護性や外装箱の強度を損なうことなく、省スペース性や省資源性の向上と共にコストダウンを可能としました。



#### 【参考】

スタックトレイ

<http://www.jpi.or.jp/saiji/jpc/2016/111.html>

照明器具梱包箱

<http://www.jpi.or.jp/saiji/jpc/2016/120.html>